

消防情勢



1 豊橋市のあらまし

豊橋市は愛知県の東南部に位置し、東は弓張山地を境に静岡県と接し、西には国定公園に指定される三河湾と国際貿易港である「三河港」を擁し、南は太平洋に面するなど豊かな自然と温暖な気候に恵まれています。

この地方は、かつて徳国と呼ばれ大化の改新のころ三河国に統合され鎌倉時代に豊川河口に橋が築かれ今橋と名付けられました。その後、吉田に改められ明治2年には吉田藩は豊橋藩に、そして明治39年8月1日県下2番目の市として産声を上げました。

戦前戦中には蚕糸の町、軍都として知られるようになり、戦後においては、市民のたゆまぬ努力と恵まれた風土をバックに多年に懸案であった豊川用水の完成をはじめ、産業基盤の強化、生活環境の整備充実を着々と進め、東三河地域の中心都市、さらには、三遠南信地域の拠点都市として躍進を続け、平成11年4月中核市に移行しました。

平成28年8月には市制施行110周年を迎え、「人」も「まち」もいきいきと輝く豊橋をテーマに出会いや交流を通じて豊橋の魅力を発見・発信していきます。

また、豊橋市は「東三河地域」の中心都市、さらには「三遠南信地域」の拠点都市として、周辺市町村との連携・交流を深め、一体的な発展を目指した広域行政の推進に取り組んでいます。

(平成30. 4. 1)

人 口	総 数	男	女	世帯数	面積
	376,797人	189,030人	187,767人	156,547世帯	261.86km ²



2 豊橋市消防のあゆみ

豊橋市の消防の歴史は、徳川末期11代将軍家斉の天明3年（1783年）時の城主松平伊豆守信明が町火消組を4か所に設置したのがこの地方における消防組の初めである。以来200年余、幾多の変遷及び制度上に種々の変革はあったが、大別すると次の6期に分けられます。

1. 町火消時代	天明3年	～	明治維新
2. 消防中絶時代	明治維新	～	明治15年
3. 私設消防時代	明治15年	～	明治32年
4. 警察消防時代	明治32年	～	明治42年
5. 公設消防時代	明治42年	～	昭和23年
6. 自治体消防時代	昭和23年以降		

昭和8年9月16日	豊橋常備消防組発足 車庫、事務所（高さ33メートル望楼付）昭和8年7月30日落成 消防ポンプ自動車33年式レオ1台 組頭1・小頭1・副小頭1・消防手13 合計16人
昭和14年4月1日	豊橋警防団常備消防部と改称 定員 部長1・副部長2・団員23 合計26人
昭和15年5月1日	羽根井出張所開設（市内花田町西郷27）
昭和19年11月1日	豊橋常備警防団と改称
昭和22年10月30日	豊橋常備消防所と改称
昭和23年3月7日	豊橋市消防本部及び豊橋市消防署設置 自治体消防として発足
昭和23年9月14日	消防本部庁舎落成 本部、1署、1出張所、消防職員37人、消防ポンプ自動車4台
昭和25年1月22日	東部出張所開設（市内瓦町84）
昭和25年5月2日	南部出張所開設（市内富本町国隠67）高さ24メートル望楼付
昭和29年5月1日	豊橋市防火委員会結成（現在の豊橋市防火協会）
昭和30年3月7日	タンク車寄贈、日産30年式1台（損保号）
昭和31年2月10日	消防無線設置（中短波基地局1基・移動局1基購入）
昭和31年8月8日	二川出張所開設（市内大岩町東郷内263）高さ21メートル望楼付
昭和32年7月8日	救急車寄贈、ウイリス32年式1台（防火委員会号）救急業務開始
昭和33年4月1日	本部、1署、4出張所、消防ポンプ車11台、救急車1台、指令車1台、職員103人

昭和35年11月7日	行政無線設置（超短波陸上無線電話）固定局1基
昭和36年9月21日	救急車寄贈（豊橋市名誉市民、神野三郎氏）
昭和37年9月12日	消防無線超短波に変更、基地局1基、移動局10基
昭和39年10月20日	豊橋市消防団組織改善協議会設置
昭和39年11月11日	屈折はしご付消防ポンプ自動車購入 1台
昭和40年10月21日	化学車購入1台
昭和41年8月8日	救急車寄贈（住友号） 1台
昭和41年9月1日	石巻分遣所開設（市内石巻本町字市場65の1）
昭和42年1月20日	救急車購入A級 1台
昭和42年4月1日	救急車寄贈（豊橋東ライオンズ号）A級 1台
昭和43年1月29日	消防本部、署庁舎増改築移転
昭和43年4月1日	本部、1署、4出張所、1分遣所、消防車13台、救急車3台、作業車1台、 広報車1台、職員141人 消防監視用テレビジョン装置（市民小ホール 高さ33m）運用開始、 本署望楼廃止
昭和43年5月4日	消防署新車庫完成（鉄骨造平家建）
昭和43年10月1日	前芝分遣所開設（市内日色野町字新切31の3） 豊橋市・小坂井町消防相互応援協定締結（昭和57年9月30日廃止）
昭和43年10月30日	32mはしご付消防ポンプ自動車購入 1台
昭和43年11月11日	化学車寄贈、トヨタ43年式 1台（火災保険号）
昭和44年1月11日	消防音楽隊結成
昭和44年2月7日	出動警報装置本署に設置（豊橋東ライオンズクラブ） 寄贈1基（南部44年、前芝44年、大清水45年、二川47年、西部50年に設置）
昭和44年4月1日	機構改革 本部2課（総務・予防）、4係（庶務・消防・予防・指導） 1署2係（警備第1・第2）、2出張所、4分遣所、職員146人
昭和44年6月2日	豊橋市消防審議会設置
昭和44年10月1日	大清水分遣所開設（市内大清水町字姫田5の3） 南部出張所消防監視用テレビジョン装置（高さ24m）運用開始、南部望楼廃止
昭和45年3月22日	救急車寄贈（豊橋南ライオンズ号）B級 1台
昭和45年4月1日	前芝分遣所を出張所に昇格
昭和45年10月1日	二川出張所移転（市内大岩町東郷内262から市内二川町字道賢田46の3へ） 消防監視用テレビジョン装置付（高さ23m）、二川望楼廃止
昭和46年6月10日	指揮車購入 1台
昭和46年8月23日	救助工作車購入 1台
昭和46年12月20日	消防救急指令装置（B級開設）

昭和47年4月29日	本署望楼撤去
昭和47年9月14日	大型水そう車（10 t）購入 1台
昭和47年10月11日	3 B型救急車購入 1台
昭和47年10月28日	タンク車購入 1台
昭和48年4月1日	東部分遣所を出張所に昇格
昭和48年8月27日	大型水そう車（10 t）購入 1台
昭和49年3月20日	3 B型救急車寄贈（損保号）
昭和49年3月22日	化学補給車寄贈（豊橋西武号）
昭和49年4月1日	機構改革 予防課予防係・指導係を、予防課予防係・建築物係・危険物係とした 職員200名
昭和49年6月3日	指揮車（フォルクスワーゲン）寄贈（富士自動車）
昭和49年8月31日	水そう付消防ポンプ自動車購入 2台
昭和49年10月11日	3 B型救急車購入 1台
昭和49年12月9日	豊橋ハイヤー協会と災害情報連絡協定締結
昭和50年4月1日	5名増員 職員205名
昭和50年10月7日	水そう付消防ポンプ自動車購入 1台
昭和50年11月26日	西部分遣所移転（市内羽根井本町131から市内東脇1丁目1の8へ）
昭和51年4月1日	機構改革 総務課 庶務係・消防係を、総務課 人事教養係・庶務係・消防係に、消防署警備第一係・警備第二係を通信指令第一係・通信指令第二係・警備第一係・警備第二係に、西部分遣所を西部出張所に昇格 3名増員 職員208名
昭和51年10月18日	水そう付消防ポンプ自動車・2 B型救急車各 1台購入
昭和52年3月29日	石巻分遣所移転（市内石巻本町字市場65の1から市内石巻本町字市場111へ）
昭和52年4月1日	機構改革 消防署に救助救急第一・第二係を新設、西部出張所を分署に昇格、警備第一・第二係とした7名増員 職員215名
昭和52年5月10日	2 B型救急車寄贈（東京海上火災）
昭和52年10月27日	水そう付消防ポンプ自動車購入 1台
昭和53年4月1日	機構改革 消防本部総務課に装備係を、消防署に通信司令を新設、庶務係を設け、東部出張所移転（市内瓦町84から市内岩田町字西郷中3へ）分署に昇格、警備第一係・警備第二係・東分署二川出張所・東分署石巻分遣所、南部出張所を分署に昇格、警備第一係・警備第二係・南分署大清水分遣所・西分署前芝出張所 11名増員 職員226名
昭和53年7月10日	2 B型救急車寄贈（豊川信用金庫）
昭和53年10月6日	水そう付消防ポンプ自動車購入 1台
昭和53年11月10日	大型水そう車（10 t）購入 1台

昭和54年3月10日	防災資機材及び搬送車配置（日本消防協会）
昭和54年4月1日	10名増員 職員236名
昭和54年4月17日	豊橋市消防団等組織改善協議会設置
昭和54年7月3日	3B型救急車寄贈（ジャスコ）
昭和54年10月8日	化学車・水そう付消防ポンプ自動車各 1台購入
昭和54年12月27日	水そう付消防ポンプ自動車寄贈（日本損害保険協会）
昭和55年3月22日	南分署新築移転（市内富本町字国隠67から市内曙町字南松原118へ）
昭和55年4月1日	機構改革 消防本部予防課を予防防災課とし防災係を、消防署を中消防署とし、予防係を新設、東分署、前芝出張所、石巻分遣所、南分署を南消防署に昇格、予防係・救助救急第一・第二係を新設、西分署、二川出張所、大清水分遣所とした 14名増員 職員250名
昭和55年4月21日	査察車購入 2台
昭和55年8月13日	応急救護車購入 1台
昭和55年10月1日	消防本部（総務課、予防防災課）市役所本館1階に移転
昭和55年10月3日	化学車、大型水そう車、ポンプ車、防災業務車 各1台購入
昭和56年1月27日	消防広報車寄贈（加藤正義氏）
昭和56年4月1日	通信司令を通信指令に改め通信指令長を配置 11名増員 職員261名
昭和56年9月28日	防災指導車寄贈（守田屋塗料）
昭和56年12月26日	救助工作車購入 1台
昭和57年4月1日	6名増員 職員267名
昭和57年11月12日	消防広報車寄贈（愛知県共済生活協同組合）
昭和58年4月1日	機構改革 中消防署石巻分遣所を中消防署石巻出張所、南消防署大清水分遣所を南消防署大清水出張所に昇格 4名増員 職員271名
昭和58年6月25日	総合気象観測装置 運用開始
昭和58年7月1日	前芝出張所から大清水出張所へ救急車配置替え
昭和58年8月19日	小型動力ポンプ付積載車寄贈（日本消防協会）
昭和58年12月22日	46mはしご付消防ポンプ自動車購入 1台
昭和59年4月1日	2名増員 職員273名
昭和59年8月23日	電源照明車寄贈（日本消防協会）
昭和59年12月12日	救助工作車購入 1台
昭和60年4月1日	1名増員 職員274名
昭和60年10月7日	ポンプ車（CD-1）購入 1台
昭和60年11月7日	消防広報車配置（日本消防協会） 1台
昭和60年11月27日	消防広報車寄贈（ロータリークラブ） 1台

昭和61年2月12日	豊橋市防災行政無線システム 運用開始 (第一次計画)
昭和61年3月4日	3 B型救急車購入 1台
昭和61年9月3日	指揮車購入 1台
昭和61年10月9日	豊橋市防災行政無線システム 第二次計画完了
昭和61年10月28日	化学車購入 1台
昭和61年12月18日	3 B型救急車寄贈 (豊橋西ライオンズクラブ) 1台
昭和62年1月17日	消防広報車寄贈 (前田義夫氏) 1台
昭和62年2月26日	3 B型救急車購入 1台
昭和62年3月9日	2 B型救急車寄贈 (愛知県共済生活共同組合) 1台
昭和62年8月31日	指揮車購入 1台
昭和62年10月20日	タンク車購入 1台
昭和63年1月28日	消防緊急情報システム整備
昭和63年6月18日	査察車購入 1台
昭和63年7月28日	資機材搬送車購入 1台
昭和63年11月30日	大型水そう車購入 1台
平成元年1月30日	30mはしご付消防ポンプ自動車購入 1台
平成元年2月20日	ポンプ車 (CD-1) 購入 1台
平成元年2月22日	消防広報車寄贈 (愛知県共済生活共同組合) 1台
平成元年3月17日	2 B型救急車寄贈 (名豊ビル) 1台
平成元年4月1日	2名増員 職員276名
平成元年7月22日	査察車購入 2台
平成元年12月10日	資機材搬送車購入 1台
平成2年3月11日	2 B型救急車購入 1台
平成2年3月20日	南消防署大清水出張所増改築
平成2年3月21日	タンク車購入 1台
平成2年3月27日	大型水そう車購入 1台
平成2年4月1日	2名増員 職員278名
平成2年6月15日	査察車購入 2台
平成2年12月17日	起震車 (グラット号) 購入 1台
平成2年12月18日	タンク車購入 1台
平成3年1月10日	タンク車購入 1台
平成3年4月1日	2名増員 職員280名
平成3年12月12日	タンク車購入 2台
平成4年2月6日	2 B型救急車寄贈 (豊橋西ライオンズクラブ) 1台
平成4年4月1日	1名増員 職員281名

平成4年5月7日	豊橋市消防団等組織改善協議会設置
平成5年2月22日	消防本部（総務課、予防防災課）市役所仮庁舎1階に移転
平成5年3月5日	高規格救急車購入 1台
平成5年3月8日	救急救命士業務開始
平成5年3月27日	中消防署新築移転（市内八町通二丁目22から市内東松山町23へ）
平成5年4月1日	機構改革 中消防署通信指令室を消防本部通信指令課とし課に昇格、予防防災課に主幹を配置 8名増員 職員289名
平成6年1月20日	20m屈折はしご付消防ポンプ自動車購入 1台
平成6年4月1日	消防本部総務課に主幹、消防署に副署長を配置 7名増員 職員296名
平成7年1月1日	中消防署石巻出張所新築移転（市内石巻本町字野添136）
平成7年2月16日	2B型救急車購入 1台
平成7年3月15日	高規格救急車購入 1台
平成7年4月1日	防災広報レディ（嘱託員）採用 4名増員 職員300名
平成7年9月5日	緊急消防援助隊登録
平成7年10月19日	化学車購入 1台
平成7年11月1日	消防全国共通波整備（基地局）
平成7年12月18日	高規格救急車購入 1台
平成8年3月6日	2B型救急車購入 1台
平成8年4月1日	消防本部通信指令課の勤務形態を3部制に移行 3名増員 職員303名
平成8年4月23日	消防広報車寄贈（宝和工業） 1台
平成8年7月8日	三遠南信災害時相互応援協定締結（愛知、静岡、長野、59市町村）
平成8年7月22日	消防本部（総務課、予防防災課）市役所西館5階に移転
平成8年10月11日	タンク車寄贈（日本損害保険協会） 1台
平成8年11月5日	タンク車購入 1台
平成8年11月29日	大型水そう車購入 1台
平成8年12月16日	消防県内共通波固定間通信免許認可（蒲郡市）
平成9年2月10日	高規格救急車寄贈（豊橋信用金庫） 1台
平成9年4月1日	南消防署の勤務形態を3部制に移行 5名増員 職員308名
平成9年6月18日	消防広報車購入 1台
平成9年12月4日	救助工作車Ⅲ型購入 1台

平成9年12月16日	消防県内共通波固定間通信免許許可 (岡崎市、西尾市、豊川市、新城市、田原町、渥美町)
平成9年12月24日	尼崎市と豊橋市との間の災害時相互応援に関する協定締結
平成10年2月18日	横須賀市と豊橋市との間の災害時相互応援に関する協定締結
平成10年2月20日	愛知県下携帯電話等による119番通報受信システム運用開始
平成10年4月1日	中消防署の勤務形態を3部制に移行 4名増員 職員312名
平成10年7月14日	署活動波無線免許認可
平成11年1月12日	大型水そう車購入 1台
平成11年1月20日	タンク車購入 1台
平成11年3月30日	豊橋タクシー協会と災害時の情報提供に関する協定締結
平成11年3月31日	昭和49年12月9日に締結した豊橋ハイヤー協会との災害情報連絡協定を廃止
平成11年4月1日	機構改革 消防本部に防災対策室を新設(室長は予防課長が兼務、主幹を配置)し防災係を、消防本部予防防災課を予防課に改称し予防係、建築物係、危険物係とした 市長部局との人事交流開始(一般職員)
平成11年5月19日	中核市災害相互応援協定締結
平成11年8月2日	消防協力隊の災害応急活動に関する協定締結(市内28社)
平成11年12月16日	ポンプ車購入 1台
平成12年1月28日	化学車購入 1台
平成12年4月1日	中消防署、南消防署の係制を廃止し、グループ制を導入、消防副士長制度開始 1名減員 職員311名
平成12年8月10日	高規格救急車購入 1台
平成12年11月22日	救助工作車Ⅱ型購入 1台
平成13年4月1日	初の女性消防吏員採用2名 消防本部防災対策室長を独立、消防本部予防課主幹を廃止 6名増員 職員317名
平成13年8月20日	高規格救急車購入 2台
平成13年8月23日	前芝出張所 救急車運用開始
平成13年10月22日	46mはしご付消防ポンプ自動車購入 1台
平成13年10月26日	指揮車購入 1台
平成14年4月1日	機構改革 消防本部防災対策室を防災対策課とし、防災係を廃止して企画推進係・防災指導係を新設し、市役所西館5階から4階に移転 女性事務職員を2名から1名に減員 5名増員 職員322名

平成14年10月29日	高規格救急車購入 1台
平成15年1月22日	水槽付消防ポンプ自動車購入 1台
平成15年3月4日	広報車寄贈（日本消防協会） 1台
平成15年3月26日	消防ポンプ自動車購入 1台
平成15年4月1日	機構改革 消防本部消防指揮室（グループ制）を中消防署庁舎内に新設（室長は中消防署長が兼務）、予防課 予防係・建築物係・危険物係を廃止し、予防グループを新設（グループ制） 消防副士長制度を廃止 6名増員 職員328名
平成15年8月21日	多目的搬送車購入 1台
平成15年9月18日	高規格救急車購入 1台 （災害対応）高規格救急車購入 1台
平成15年10月10日	小型動力ポンプ付き大型水槽車購入 1台
平成15年10月16日	消防ポンプ自動車購入 1台
平成15年11月13日	化学消防ポンプ自動車購入 1台
平成15年11月19日	電源車購入 1台
平成15年11月27日	小型動力ポンプ付き積載車購入 1台
平成15年12月18日	広報車寄贈（中部瓦斯株式会社） 1台 資機材搬送車購入 1台
平成16年4月1日	機構改革 消防本部総務課 人事教養係・消防係を廃止し、消防グループを新設（グループ制）、装備係・庶務係を廃止し、管理グループを新設（グループ制）、防災対策課 企画推進係・防災指導係を廃止し、防災グループを新設（グループ制） 2名増員 職員330名
平成16年6月22日	査察車購入 1台
平成16年8月3日	広報車寄贈（豊橋市防火協会） 1台
平成16年9月17日	広報車購入 1台
平成16年10月1日	豊橋市及び豊川市消防通信指令事務協議会設置 （豊川市と消防通信指令に関する事務の共同処理開始）
平成16年12月15日	起震車購入 1台
平成17年1月25日	高規格救急車購入 2台
平成17年1月28日	防災業務車購入 1台
平成17年3月29日	小型動力ポンプ付き水槽車（I型）購入 1台
平成17年4月1日	職員327名
平成17年10月25日	広報車購入 1台

平成17年11月11日	防災業務車購入 1台
平成17年12月8日	災害対策多目的搬送車購入 1台
平成17年12月15日	高規格救急車購入 1台
平成18年1月20日	多目的車購入 1台
平成18年3月23日	小型動力ポンプ付水槽車購入 1台
平成18年4月1日	機構改革 消防本部総務課 消防グループを廃止し、総務グループを新設 消防本部通信指令課・消防指揮室を統合し消防救急課とし、通信指令グループを通信グループに変更し、消防グループを新設 消防署に救命指導官を配置 1名減員 職員326名
平成18年12月1日	水槽付消防ポンプ自動車購入(3t) 2台
平成19年3月9日	高規格救急車購入 1台
平成19年4月1日	機構改革 消防署副署長を廃止 職員326名
平成19年 月 日	豊橋市消防団等組織改善協議会設置
平成19年12月3日	消防ポンプ自動車購入 2台
平成19年12月6日	水槽付消防ポンプ自動車購入(3t) 1台
平成20年2月7日	救急普及啓発広報車寄贈(財団法人救急振興財団) 1台
平成20年4月1日	4名増員 職員330名 中消防署に高度救助隊配置 豊橋市、豊川市及び新城市消防通信指令事務協議会設置 (新城市を加え、3市による消防通信指令に関する事務の共同処理開始)
平成20年12月25日	31mはしご付消防自動車購入 1台
平成21年4月1日	1名増員 職員331名
平成21年11月6日	高規格救急車購入 1台
平成22年4月1日	機構改革 消防署に救急専門員(補佐級)を配置 1名減員 職員330名 豊橋市、豊川市、蒲郡市及び新城市消防通信指令事務協議会設置 (蒲郡市を加え、4市による消防通信指令に関する事務の共同処理開始)
平成22年6月18日	高規格救急車購入 1台
平成23年2月28日	南消防署西分署新築
平成23年3月10日	高規格救急車購入 1台
平成23年4月1日	機構改革 防災対策課を防災危機管理課として総務部に移管 分署長を主幹級とし、分署に分署長補佐を配置 7名減員 職員323名

平成24年1月1日	東三河消防通信指令事務協議会設置
平成24年3月1日	5市による消防通信指令に関する事務の共同処理開始
平成24年3月7日	水槽付消防ポンプ自動車購入 1台
平成24年3月23日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入 1台
平成24年4月1日	機構改革 消防本部消防救急課に企画グループを新設し主幹を配置 通信グループを通信指令課とし課に昇格・南消防署の救命指導官を廃止 2名減員 職員321名
平成24年10月18日	高規格救急車購入 1台
平成24年11月12日	小型動力ポンプ付水槽車購入 1台
平成25年2月6日	救助工作車Ⅲ型購入 1台
平成25年3月26日	消防・救急無線をデジタル化
平成25年4月1日	3名増員 職員324名
平成25年11月18日	高規格救急車購入 2台
平成26年1月23日	水槽付消防ポンプ自動車購入 1台
平成26年3月24日	消防広報車寄贈（愛知県共済生活共同組合） 1台
平成26年4月1日	消防本部消防救急課消防グループに指揮副隊長を配置 3名増員 職員327名
平成27年2月17日	C A F S装置付化学消防ポンプ自動車購入 1台
平成27年4月1日	機構改革 消防署に副署長、違反是正専任主査を配置 6名増員 職員333名
平成27年9月29日	高規格救急車購入 1台
平成28年4月1日	3名増員 職員336名
平成28年12月13日	高規格救急車購入 1台
平成29年2月13日	災害対応特殊C A F S装置付化学消防ポンプ自動車購入 1台
平成29年2月24日	災害対応特殊消防ポンプ自動車購入 1台
平成29年4月1日	3名増員 職員339名
平成29年4月5日	高規格救急自動車及び積載資機材寄贈（森みのり様） 1台
平成29年12月14日	査察車寄贈（株式会社スミ電機工業所様） 1台
平成30年3月20日	救助工作車Ⅱ型購入 1台
平成30年4月1日	機構改革 南消防署に警防専門員（補佐級）、消防署に人材育成主査を配置